会高同窓会報

No. 45
2015年(平成27年)
9月6日(日)

編集・発行／福島県立会津高等学校同窓会事務局／発行人：会津高校同窓会会長　新城　猪之吉
〒965-0831／☎：0242-28-0211㈹／FAX：0242-28-6680／会高ホームページアドレス／http://www.aizu-h.fks.ed.jp

弁論日本一！優勝して凱旋。海部総理大臣直筆の優勝旗とカップとトロフィーをもって。
（左）武田夏歩社会弁論部長（右）優勝者加藤さわさん（記事．p .48）

「震災後に思うこと」

会津高校同窓会 会長
新城　猪之吉（高21回）

多くの皆さまから平素は我が同窓会活動についてご理解を賜わり何かとご協力を頂きまして誠にありがとうございます。又この度の名簿作成につきましても、多くのご協力を頂きましたことに、重ねて御礼申し上げます。

さて本題の通り、思うところを少々のべさせて頂きます。震災以後、国の方から様々な援助体制が発表になり、我が酒造業も、輸出に対して補助をしてもらえるようになりました。お蔭で福島の産物の安全宣言をする為に様々な国に出かけることが多くなりました。まずはタイ。この国へは、県の職員をバンコクのジェトロへ派遣していたからです。きっかけはあの有名なアナウンサーの福留功男さんから私にかかってきた一通の電話からでした。『タイは**震災の同じ年の夏、大洪水で大変な被害を受けた**にもかかわらず、国と国民から156億円という大変な援助金を送ってきました。また、王様からは毛布・捜索犬・大量のバナナチップ等送られてきました。しかし日本側は、この毛布はサイズが小さい、犬は動物協定があるので入国が難しい、バナナチップは指定された町への寄付はその人口分がないので受けとれない、等々の情なくあるまじき返事をしてしまったのです。これらのことは勿論、156億円の援助金のことも、日本国民は知らないのです。この事は大問題だし、何らかの御礼をすべきだ。』という内容の電話でした。福留さんは『何十年にも渡ってタイの方々と深く交流があり、その御礼として夜のマラソン大会を企画した。だから協力してくれ。』といわれ、まずは一緒にバンコクへ。

大変な難題が一杯ありましたが何とか実施へ。一年後、バンコクの日本大使館で、タイの重要な方（ＶＩＰ）を招いての感謝パーティを開きました。その時に福島の酒を使いたいと言われ、それがきっかけで輸出の話がまとまりました。そして福島の桃も売込みに成功しました。タイでもあの大洪水を乗り越え、軍事クーデターもありましたのに、第二工業団地の投資も積極的にすすみ、経済も成長しています。福留さんは第二弾として、タイの高校生を集め、日本の被災地巡りのウルトラクイズを企画して奔走しております。

協力して頂ける企業にお勤めの同窓生がおられましたら是非私あてにご連絡下さい。又台湾は一番多くの援助金を送ってくれた国だったのですが日本は、翌年の3月11日の追悼式に、台湾の方々を来賓扱いせず、国交がないという理由で一般席に廻してしまいました。

相変わらずの日本の形式主義には閉口してしまいます。御礼もまともに言えないとは！　でも一応翌日の12日には、台北のホテルで感謝パーティ（？）はやりましたが。その時台湾の馬総統は日本へ旅行しよう、そして日本産物をみんなで買おうと呼びかけてくれました。その後台湾の日本酒好きな人々がＳＡＫＥリズムという会を開いてくれ、台北市民が大勢あつまり、日本酒を楽しんでもらいました。今後我々は**この援助を頂いた国へ一人ひとり意識を強めて、様々な御礼の活動をもっともっとすべきだ**と思います。ただ**どの国がその為にどうしてくれたという情報がないのも事実です。**タイの事からわかる様に、交流は一個人のつきあいから始まりました。日本人に足りないのはこれだと思います。

この民間外交こそ様々な感情問題を解決する道だと思います。志ある学生諸君、若手の同窓生の皆さん、海外へ飛び出そう！

紙面紹介

1 面 会長 新城猪之吉氏
2 面 校長 丹藤 茂氏
3 面 平成26年度総会報告
4 面 総会記念講演記録
5 面 平成26年度会務報告
6 面 会計決算書
7 面 基金会計（決算）・協賛金趣意書
8 面 会報会計・名簿会計決算書・会計監査報告
9 面 平成27年度事業計画（案）
10 面 平成27年度会計予算（案）
11 面 在京会長の言葉 石田桂久氏
12 面 在京会の活動報告 小野 彰氏
12 面 人・事。あらかると①ふるさと応援歌
13 面 脱却すべきレジウムとは何か 関西会長 菅家大幸氏
14 面 関西会の活動状況 佐々木 繁氏
14 面 人・事。あらかると②音楽を平面紙上に表せるか
15 面 会津嶺の心で結ぶ中日本 中部会長 大内哲夫氏
16 面 中部会の総会報告 林 誠三郎氏
17 面 余市リンゴと会津藩士 北海道会長 太田原高昭氏
18 面 北海道会の活動状況 関部賞司氏
19 面 会津高校アメリカ研修 教頭 毛利英雄氏
20～21面 同窓生寄稿 放射生態学という研究分野をご存知ですか 大橋洋一郎氏
22 面 母校だより①―1年度末人事異動 ①―2母校データ
23 面 母校だより②入試概況
24～25面 合唱部日本一・金賞取る。ベートーベンの交響曲第九番（合唱つき）全曲演奏。完璧！）
26～28面 母校だより③1、2、3、26年下期及び27年上期の部活動成績。
29 面 同窓生寄稿 第7回ゴルフ報告 永田幸芳氏
30 面 第6回囲碁大会報告 佐藤紘一氏
31 面 第4回将棋大会報告 長谷川完氏
32 面 クラス会便り
P32 會中52、53、55回 会高2回
P33 会高3回
P34 会高6回
P35 会高7、9、10、11回（クラブ3枚）
P36 会高13回
38 面 支部便り。南会津支部
P38 塩川支部。
P39 猪苗代支部・同窓会格支部役員名
P40 下郷支部・会津坂下支部
P41 湯川支部・河東支部
42～45面 協賛金報告・協賛者名簿 増井邦良氏
45 面 人・事。あらかると③第九を演奏する会津
46～48面 おくやみとお祝い
47 面 編集後記と編集委員
48 面 社会弁論部特集 佐藤繁氏

題字は故平野春洋［幸男］氏（中53回）

会津人を育てる

校長　丹藤　茂

同窓生の皆様には、常日頃より母校に対しまして温かいご支援をいただいておりまして、心より感謝申し上げます。

今年度より会津高校にお世話になっております丹藤と申します。本校の高27回卒。男子校の時代には教諭としても勤めさせていただきましたので、三度目の会津高校となります。再び母校に勤めることができ大変幸せであるとともに、歴史と伝統ある本校に着任し、身の引き締まる思いでおります。微力ではありますが、母校のために精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

さて、今年度もここまで、生徒たちは社会弁論部の三年女子生徒が全国弁論大会で内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞（全国一位）を獲得したのを始め、端艇・山岳・陸上の三部が全国インターハイに出場するなど、めざましい活躍ぶりです。多くの生徒たちがお互いに切磋琢磨し協力しあいながら、学習は勿論、部活動や学校行事に前向きに取り組んでおり、心強い限りです。

今年度の学校経営・運営ビジョンの目指す生徒像の第一には、「会津人としての気品、粘り強さ、礼儀正しさ、奉仕の精神を持つ生徒」と挙げさせていただきました。ここ会津は、かねてより人づくりに関しては全国から高く評価されており、数多くの魅力ある人物を輩出しています。「会津」という名を冠する本校は、現在も凛とした会津人を育てる学校として、周囲から期待されていることは間違いありません。

自然、歴史、風土、…ここ会津は人間を育てるには最適な場所であると、昨年一年間教育行政の場にいて会津域内を回り、そうした思いを改めて強くいたしました。四季折々に変化する山や川の豊かな美しい自然、そして何よりも子供たちを大切に育んでいる地域の人々の豊かな愛情を感じることができました。そうした方々の思いに応えられる心豊かな人間の育成に今後も力を傾けてまいります。

また、今年度本校は「復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業」という県の重点事業の指定を受けています。永年にわたり、本校が独自に取り組んできたアメリカ研修や今までの本校の教育活動が評価されてのことです。三年間にわたる事業ですが、今年度は福島や会津の抱えている課題を探求し、自らの研究課題を設定する一年と位置づけています。今年度の事業は、大学の先生方の講義や地域で活躍する社会人の方々の講演、諸外国の若者たちとの交流、さらにアメリカへの海外研修などを予定しているところです。次年度以降、それぞれに設定した課題をさらに掘り進めていくこととなりますが、生徒たちにはこの事業をとおして、自らの故郷をより深く理解すると同時に、国際人として活躍できる幅広い視野や物事を多面的に考える力を身につけてほしいと願っています。

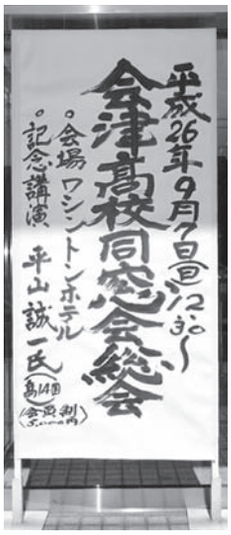
結びに、すべての同窓生の皆様にとって、母校がいつまでも誇りであり、なつかしい存在であり続けられるよう、現在の会津高校をさらに魅力ある学校にしていきたいと考えます。創立百二十五年目を迎えた本校のこれまでの歴史と伝統を踏まえつつ、さらなる飛躍を目指してまいりますので、今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

■丹藤　茂先生プロフィール

早稲田大卒。千葉県公立高校勤務の後、福島県に戻り、郡山高・田島高・会津高に教諭として勤務。その後、県教育庁指導主事、教頭として喜多方東高・葵高、校長として、あさか開成高・安積黎明高に勤務。昨年度会津教育事務所長を経て現職。

平成26年度総会報告

平成26年（二〇一四）9月7日（日）、平成26年度総会に先立ち午前10時より、やすらぎの碑前でこの一年の間に物故された母校教職員や同窓生のご冥福を祈って献花祭が行われた。足場の悪い所ではあったが、関西からの代表や、総会講演の講師の方も含め、22名が参列。



看板及び講演題字の揮毫・千葉宏氏（高８回）

続いて12時30分から、ワシントンホテルで総会開始。安部井省治副幹事長（高28回）が進行。東海林信一郎副会長（高12回）の開会の言葉。物故会員のご冥福を祈って黙祷。宮澤洋一氏（高26回）の指揮で會津中学校と会津高等学校の校歌を朗々と斉唱。同窓の絆を弥が上にも感じる時だ。

東海林信一郎副会長の開会宣言

新城猪之吉会長（高21回）から協賛金への多数の賛助を頂いていることや、栗林基金による在校生のアメリカ研修が既に3回に及び、生徒51名、引率教員3名、計54名の渡米経験者を生んでいることへの謝辞を含めて、今後の同窓会活動への展望を語り、会員諸兄のなお一層の協力を求められた。

遠来の客人を含めてのご来賓が紹介された。特にお三人さんのご挨拶あり。母校校長、箱崎二三彦氏から部活動における在校生の華華しい活躍ぶりや、内外ともに新しい時代をめざすグローカリズムの気運に乗り遅れまいとの激励の言葉。林健幸母校ＰＴＡ会長（高34回）から当面の学校支援活動の状況が紹介され、会津若松市長室井照平氏（高26回）からは、行政サイドの中にあって会津高校の占める重要性を再認識して、市政運営を鋭意進めて行きたいとの決意が披露された。

議事の直前に議長選任が行われ、今次は齋藤満氏（高29回）が壇上に立たれた。議事録署名人として、佐藤哲夫氏（高25回）、横山淳氏（高28回）を選出。両名は、事後議事内容確認の上、議事録に署名を残された。

提案された議事詳細は、本会報上、別記に譲る。参照されよ。25年度会務報告《太田伸幹事長（高21回）》。

以下決算報告。《一般会計（増井伸郎会計幹事（高44回））。基金会計（渡部孝男会計幹事（高40回））。継続名簿会計（千葉宏名簿会計（高８回））。会報会計（佐藤繁会報委員会会計（高42回））。監査報告代表（宮澤洋一（高26回））。》

平成26年度用について説明①事業計画案（太田幹事長）②予算案（増井会計幹事）

協賛金の収受状況について増井邦良副幹事長（高14回）から詳細報告あり。今後も協賛者の増加を図る工夫が必要だと痛感している旨、洩らされた。そして議題を全て難なく終了できて斎藤議長に感謝の大拍手が贈られた。

議事を終えた後、本会に対して神田武宣氏《（高32回）・会津坂下・湯川道の駅駅長》たちの交流クラブである『学而さくらクラブ』より多大の寄付の申し出があり、会長からお礼の言葉と共に紹介された。本会への二度目の善行。

戸川稔朗副会長（高19回）の閉会の言葉で総会終了。

その後、記念講演会（詳細後記）に移る。会長より講師の紹介があり、また事後に会長から謝辞があった。

続いて少時をおいて、15時30分辺りから懇親会に入る。進行は山本真一副幹事長（高31回）。開会の言葉は竹田政弘副会長（高24回）から。進行係から在京会長・石田桂久氏（高10回）、講師の平山誠一氏（高14回）、国会議員管家一郎氏（高27回）、同小熊慎司氏（高39回）の出席や祝電及び県会議員の小桧山氏、平出氏、宮下氏、星公正氏、そして母校の管理職の方々、ＰＴＡ役員の方々も紹介された。多忙を押してはるばる関西の同窓会から出席された管家大幸氏による力あふるる乾杯のご発声。祝宴中の和やかに、時に賑やかに、相互に愛深い言葉のやり取りが続いた。いつもに変わらない永田幸芳氏（高13回）の活発で動きの速いお祝い拍手。本会の宝ですなぁ。

中締めは、母校事務長・佐々木孝一氏（高27回）の三度重ねる萬歳三唱。母校の発展を願ってェ～、萬歳、ばんざい、バンザァーイ。次に同窓会の更なる発展を祈って万歳三度び。最後に参会者ご一同さんの健康長寿と来年の再会・参集を期してもう一度の三唱万歳、都合九唱。で締められた。その響き各々の心身に確と残して、次回につなごう。（さ）

斎藤満議長の名さばき

総会記念講演

講師　元・外航海運機関士　**平山　誠一氏**（高14回）

『近代日本を変えた、山国会津の船乗りたち』より

〈本年4月20日在京同窓会総会で新城会長が聴講した平山誠一氏の航海技師たちにまつわる講話。四囲を山に囲まれた会津から出た人たちの、公海上の活躍の物語を、本部同窓会の皆さんにも聴いてもらおうとの約束が実現した〉

講師プロフィール

1943（昭和18年）会津若松生まれ
1962（昭和33年）会津高等学校卒業
1968（昭和43年）東京商船大学卒業（14回）
1982（昭和57年）全日本海員組合専従採用（外航機関士として船社勤務）
2000（平成12年）中央執行委員選出
2002（平成14年）政策国際関係担当役員歴任
2006（平成18年）国土交通大臣表彰
2007（平成19年）財日本船員福利雇用促進センター常勤監事
現在　海洋会顧問

海への情熱ほとばしる（平山誠一氏）

氏は冒頭に「どう見ても会津は山国だが～」と切り出して、幕末から明治・大正・昭和に及ぶ間に、日本の海運に会津人がどれだけ深く関わってその興隆に寄与したかを、実在した先輩たちの実名を挙げて、活躍ぶりを紹介された。

郡寛四郎氏。楡井次郎氏。福井次郎氏。城取豊太郎氏。加藤勝彦氏。浅岡俊吾氏。河原勝治氏。それぞれの方について、相当に分け入った紹介が続いた。氏は、活躍された先輩たちへの限りない渇仰を示されていて、そのどの人生もが我々の心深く感動を誘う。

氏は在京の会では言及しなかった事柄について、別紙にレジュメを準備されて、語られた。戊辰戦争より以前の、会津藩における、海上を経由して、藩外の地域の物資の輸入・地産物資の輸出を図っていた事実も紹介された。会員の皆さんにとっても、耳新しく響いた事と思われる。それが、移住した下北の斗南藩として辛うじて立藩できた後も、藩の重役たちが（斗南の）会津藩興隆を図るためには、海外へ出て行かねばならぬとの、不動の確信を抱いていたところにつながる。いわゆる「海事思想」に動かされていく。先述の人々は、その先端に立つ人たちであった。

會津中学校では、その海事思想の系譜を継いで、海軍並みのカッター三艇を、猪苗代の見弥山の殿の林木から造り、磐梯・吾妻・飯豊と銘打ち、水上運動会を続けてきた。

特に大河川沿いでもなく、利便な沿海地域でもない、山国の中の會中、会高が端艇（ボート）の、全国屈指の名門校として浮上しているのは、故なしとは、しないのである。

講師の平山誠一氏はそんな事にも言及された上で、明言された。『会津人は決して山猿にあらず。』と。『世界を、世界の中の日本を認識しない野人にはあらず。』と。

（会場から大拍手。）

氏は、またごく近代の昭和期の海上に活躍した会津人も紹介された。そして、後輩諸君の中から、今後、商船大学・水産大学等に多数進学されよ、と結ばれた。

このたびの講演の中で、注目すべき事柄があった。海上の危難が発生したときに会津高田・永井野出身の加藤勝彦という人の取った乗客乗員を全員無事救出という見事な処理ぶりに大三菱の総帥・岩崎弥太郎がその後夭折する加藤を終生面倒みたということ。また、第一次世界大戦のさなか、地中海のアレキサンドリアの沖で、日本郵船・「八坂丸」が、ドイツ海軍のUボートの雷撃を受けて沈められた。この船の二等航海士・渡部喜貞（會中11回卒）が乗客乗員を全員無事救出した。このニュースは世界を駆けめぐり、日本人船員の器量と責任感（シーマンシップ）の高さを世界に知らしめたのである。日本人船員を見る眼が一変したと言われる事件であった。沈みゆく本船八坂丸から乗客乗員全員を無事救出したときの渡部喜貞の、ましら（猿）の如き素早く的確な指揮ぶりが大いに賞賛を受けたという。

どこかの国の客船船長がわれ先に救命ボートに乗り移ってしまい、多数の高校生を死なせてしまった話と、この二人の事柄とを比べたら、甚だしい落差を感じる。右二つをあえて講演の内容から取り出して、先輩・会津人、先輩・會中卒業生の名を現代会津人の大きな誇りとしたい。

講演終了後、新城会長は我々会津人・後輩の刮目をあびた本日の、ご講演の内容を後世のためにぜひ一本に成して、世に問うて頂き、心の糧として永く残るようにして下さるよう、お願いする。と謝辞を表明。（さ）

会高発展のために盃をあげよ！（管家大幸氏）

「万歳！」を九唱！（佐々木孝一氏）

平成 26年度　会務報告　(H26年7月1日～H27年6月30日)

年	日　時	会　務	場　所　等
26	7月　3日(木)	南会津支部総会	丸山館
	7月14日(月)	名簿委員会	中の島
	19日(土)	坂下支部総会	江戸鮨
	22日(火)	河東支部総会	おおた
	24日(木)	母校端艇部、なぎなた部全国大会出場激励金贈呈	母校
	29日(火)	会計監査	母校
	8月　2日(土)	第2回定例幹事会	ワシントンホテル
	20日(木)	会報委員会	ホテルニューパレス
	30日(土)	臨時役員・名簿委員合同会議	中の島
	9月　7日(日)	平成26年度総会　257名	ワシントンホテル
	〃	物故会員追悼慰霊祭	母校やすらぎの碑
	〃	同窓会報第44号発行	
	20日(土)	臨時幹事会	中の島
	23日(火)	戊辰殉難者秋季祭典	阿弥陀寺、長命寺
	24日(水)	白虎隊士秋季墓前祭	飯盛山
	30日(火)	創立125周年記念名簿作成契約(サラト)	中の島
	10月　8日(水)	役員会	中の島
	15日(水)	市役所職員同窓会総会	中の島
	17日(金)	母校陸上競技部、端艇部、合唱部 全国大会出場激励金贈呈	母校
	21日(火)	下郷支部総会	鈴木屋旅館
	11月　1日(土)	塩川支部総会	粋旬
	8日(土)	関西同窓会総会	大阪　プリムローズ大阪
	15日(土)	湯川支部総会	粋旬
	22日(金)	河東新そば会	おおた
	23日(日)	猪苗代支部総会	ホテルリステル猪苗代
27	1月27日(火)	役員会	中の島
	30日(金)	母校スキー部全国大会出場激励金贈呈	母校
	3月　1日(日)	第67回 卒業式、会長杯各大会案内発送	母校、記念品贈呈
	17日(火)	名簿委員会	中の島
	24日(火)	母校離任者送別会	いずみや
	4月　8日(水)	平成27年度 入学式	母校
	19日(日)	在京同窓会総会　167名	上野精養軒
	23日(木)	戊辰殉難者春季祭典	阿弥陀寺、長命寺
	24日(金)	白虎隊士春季墓前祭	飯盛山
	26日(日)	高田支部総会	宮廼
	28日(火)	中田浜強歩大会応援	有志
	〃	母校着任者歓迎会	中の島
	5月　5日(火)	第7回ゴルフ大会	磐梯カントリークラブ、中の島
	〃	第6回囲碁大会、第4回将棋大会	中の島
	9日(土)	第1回定例幹事会	中の島
	28日(木)	臨時役員会	中の島
	30日(土)	北海道同窓会総会	札幌第一ホテル
	6月　8日(月)	名簿委員会	中の島
	6月13日(土)	中部地区同窓会総会	トーエネック社員クラブ　城西荘
	6月18日(木)	会報委員会	45号編集委員会
	6月26日(金)	名簿委員会	中の島

平成26年度　会津高等学校同窓会会計決算書

⑴、⑵、⑶とも平成 27 年８月８日（土）第２回幹事会で承認を受けました。

⑴ 一般会計　　平成２６年７月１日より平成２７年６月３０日まで

収入総額	¥4,204,610
支出総額	¥4,146,293
差引残高	¥58,317

収入内訳

（単位：円）

	予 算	決 算	比較増減	備　　考
前年度繰越金	389,736	389,736	0	
入会金	1,375,000	1,375,000	0	5,000円×275名
協賛金	2,550,000	2,398,000	△ 152,000	
雑収入	264	41,874	41,610	利息、ゴルフ大会残金、寄付金
合計	4,315,000	4,204,610	△ 110,390	

支出内訳

（単位：円）

	予 算	決 算	比較増減	備　　考
事務局費	200,000	190,901	△ 9,099	趣意書、ラベル台紙代等
事業費	100,000	0	△ 100,000	
総会費	150,000	161,909	11,909	同窓会総会補助
会報発行費	670,000	918,000	248,000	会報発行費　60ｐ
会合出席（地元外）	500,000	450,320	△ 49,680	在京・関西・北海道
会合出席（地　元）	150,000	116,000	△ 34,000	支部等総会・墓前祭
慶弔費	50,000	8,640	△ 41,360	花環代
名簿発行準備金	200,000	0	△ 200,000	
卒業記念	250,000	255,420	5,420	卒業記念品、卒業証書用筒代
会議費	100,000	141,400	41,400	役員会会場費等
通信費	250,000	313,413	63,413	会報発送、メール便、切手等
基金	1,375,000	1,375,000	0	入会金
手数料	100,000	106,580	6,580	協賛金振込手数料
雑費	50,000	28,710	△ 21,290	広告代
予備費	170,000	80,000	△ 90,000	合唱部祝勝垂れ幕
合計	4,315,000	4,146,293	△ 168,707	

会計幹事　　増井　伸郎

⑵　基金会計

平成26年会津高校同窓会基金会計会計報告書

平成２６年７月１日より平成２７年６月３０日まで

収入総額　23,281,410 円

支出総額　720,000 円

差引残高　22,561,410 円

収入の部　（単位:円）

前年度繰越金	21,897,368	
同窓会入会金	1,380,000	H26年度卒業生275名×5,000円 新入会者1名×5,000円
預金利息	4,042	普通預金、定期預金利息合算
合　計	23,281,410	

支出の部　（単位:円）

全国大会出場激励金	720,000	陸上部、端艇部、合唱部、社会弁論部、スキー部、なぎなた部
合　計	720,000	

財産目録

普通預金	7,429,582 円
定期預金	15,131,828 円
計	22.561.410 円

基金会計幹事　渡部孝男（高４０回）

会津高等学校同窓会への協賛金お願い趣意書

会津高等学校同窓会長　新城猪之吉

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

同窓生の皆様には、本会のために、日頃からご尽力を賜り厚く御礼申上げます。

さて、会津高校同窓会は、平成十七年度総会において「年次協賛金」が承認され、平成十八年度より、それによって、運営されております。

今後とも、同窓生皆様の相互親睦、母校賛助、後輩育成支援等への熱意実現のため、左記によって「協賛金」を年次お願いしてまいりたいと存じます。

つきましては、同窓会の皆様並びに有志各位におかれましては、出費多端の折から甚だ恐縮に存じますが、協賛金のご趣旨をご理解いただき、ご芳志を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

記

一、協賛金のこと

(1)名　称　会津高等学校同窓会年次協賛金と称する。

(2)目的・用途　同窓会運営のための一般会計資金とする。

(3)協賛金額　毎年、金一〇〇〇円から二〇〇〇円程度で可とする。（もちろん、それを越えることがあっても可。）

(4)納入期間　毎年七月一日から翌年六月三十日までを会計年度とする。通年受理する。

(5)協賛者名簿　直近の同窓会報に協賛者各位の氏名を登載する。

(6)納入方法　所定の郵便振替用紙（振込料金加入者負担）を使用する。

口座番号　02230—2—50230

加入者名　会津高等学校同窓会

(7)会報送付　振込者　自分の卒業回次・氏名・住所を記入する。

振込者には振込時会計年度の同窓会報を送付する。

二、問い合わせ先

(1)母校同窓会事務局　会津高校同窓会事務局担当者
〒965—0831　会津若松市表町3番1号
FAX0242—28—6680

(2)同窓会幹事長　太田　伸
〒965—0818　会津若松市東千石二丁目3番14号
FAX0242—27—0428

平成二十七年　九月

会員各位
有志各位

前ページ・決算書の「収入内訳にある『協賛金』として処理されていくものです。振込票は、まとめて、何枚でも事務局に電話で、お申しつけください。（会計係記）

⑶ 会津高校同窓会各会計決算書

※各会計の年度期間は平成26年7月1日～平成27年6月30日

1. 会報委員会会計決算書

収入総額　438,568 円
支出総額　206,719 円
差引残高　231,849 円

○ 収入の部　（単位：円）

前年度繰越金	148,527	
広告収入	290,000	20事業所
雑収入	41	利息
合計	438,568	

○ 支出の部　（単位：円）

会議費補助	39,734	H26年8月20日、H27年6月18日開催
配送諸通信費	8,200	切手代、発送費
取材事務・旅費	72,032	旅費等
備品費	66,753	テープおこし、SDカード等
その他	20,000	合冊用定期積立
合計	206,719	

差引残高231,849円は次年度会計へ繰り越します。

会報委員会会計　佐藤　繁（高校42回）

2. 継続名簿会計決算書

収入総額　1,435,728 円
支出総額　0 円
差引残高　1,435,728 円

○ 収入の部　（単位：円）

前年度繰越金	1,435,507	
利息	221	利息
合計	1,435,728	

○ 支出の部　なし

差引残高1,435,728円は次年度会計へ繰り越します。

継続名簿会計　千葉　宏（高校8回）

会計監査報告書

平成 27 年　7 月 27 日（月）15 時 00 分より会津高校選択Ⅲ教室において、会津高校同窓会「一般会計」「基金会計」「会報委員会会計」「継続名簿会計」「協賛金会計」について会計担当者の説明を聴取し、関係帳簿及び証拠書類の照合を実施したところ、適正に執行されていることを認めます。

平成 27 年　7 月 27 日（月）

監事：宮澤洋一

監事：酒井幸一

平成 27年度　事業計画(案)　(H27年7月1日～H28年6月30日)

年	日　時	会　務	場　所　等
27	7月 3日(木)	南会津支部総会	丸山館
	7月14日(火)	名簿委員会	中の島
	17日(金)	坂下支部総会	江戸鮨
	21日(火)	母校陸上競技部、端艇部、山岳部全国大会出場激励金贈呈	母校
	〃	名簿委員会	中の島
	22日(水)	河東支部総会	おおた
	27日(月)	会計監査	母校
	8月 8日(土)	第2回定例幹事会	ワシントンホテル
	中　旬	会報委員会	ホテルニューパレス
	9月 6日(日)	平成27年度総会	ワシントンホテル
	〃	物故会員追悼慰霊祭	母校やすらぎの碑
	〃	同窓会報第45号発行	
	23日(水)	戊辰殉難者秋季祭典	阿弥陀寺、長命寺
	24日(木)	白虎隊士秋季墓前祭	飯盛山
	10月 初　旬	役員会	
	中　旬	市役所職員同窓会総会	
	下　旬	下郷支部総会	
	11月 上　旬	塩川支部総会	
	中　旬	関西同窓会総会	大阪
	中　旬	湯川支部総会	
	下　旬	猪苗代支部総会	
	12月 中　旬	創立125周年記念同窓会名簿発刊	
28	1月 下　旬	役員会	
	3月 1日(火)	第68回 卒業式、会長杯各大会案内発送	母校、記念品贈呈
	下　旬	母校離任者送別会	
	4月 8日(金)	平成28年度 入学式	母校
	17日(日)	在京同窓会総会	上野精養軒
	23日(土)	戊辰殉難者春季祭典	阿弥陀寺、長命寺
	24日(日)	白虎隊士春季墓前祭	飯盛山
	下　旬	高田支部総会	宮廼
	28日(木)	中田浜強歩大会応援	有志
	〃	母校着任者歓迎会	
	5月 5日(木)	第8回ゴルフ大会	磐梯カントリークラブ、中の島
	〃	第7回囲碁大会、第5回将棋大会	中の島
	中　旬	第1回定例幹事会	
	下　旬	北海道同窓会総会	札幌第一ホテル
	6月 上　旬	会報委員会	46号編集委員会
	中　旬	中部地区同窓会総会	名古屋
	7月下旬	会計監査、役員会	母校
	8月 上　旬	第2回定例幹事会	
	中　旬	会報委員会	46号編集委員会
	9月 11日(日)	平成28年度総会	ワシントンホテル
	〃	物故会員追悼慰霊祭	母校やすらぎの碑
	〃	同窓会報第46号発行・発送	

平成27年度　会津高等学校同窓会会計予算(案)

(1)　一般会計

平成27年7月1日より平成28年6月30日まで

収　入

(単位：円)

	27年度予算	26年度決算	比較増減	備　　考
前年度　繰越金	58,317	389,736	△ 331,419	
入　会　金	1,395,000	1,375,000	20,000	5,000円×279名
協　賛　金	2,550,000	2,398,000	152,000	
雑　収　入	683	41,874	△41,101	利息等
合　　計	4,004,000	4,204,610	△ 200,610	

支　出

(単位：円)

	27年度予算	26年度決算	比較増減	備　　考
事務局費	200,000	190,901	9,099	封筒印刷費等
事　業　費	100,000	0	100,000	
総　会　費	150,000	161,909	△ 11,909	同窓会総会補助
会報発行費	700,000	918,000	△ 218,000	会報発行費
会合出席（地元外）	450,000	450,320	△ 320	在京・関西など
会合出席（地　元）	120,000	116,000	4,000	支部総会、墓前祭
慶　弔　費	20,000	8,640	11,360	弔電、香典等
名簿発行準備金	0	0	0	
卒業記念	250,000	255,420	△ 5,420	卒業記念品、卒業証書筒代
会　議　費	100,000	141,400	△ 41,400	役員会、幹事会等
通　信　費	250,000	313,413	△ 63,413	はがき、切手代等
基　　金	1,395,000	1,375,000	20,000	入会金
手　数　料	100,000	106,580	△ 6,580	協賛金振込手数料
雑　　費	30,000	28,710	1,290	広告代等
予　備　費	139,000	80,000	59,000	
次年度　繰越金	0	58,317	△ 58,317	
合　　計	4,004,000	4,204,610	△ 200,610	

※科目間の経費の流用は会長一任

会計幹事　増井　伸郎

ごあいさつ

在京会津高校同窓会長　石田桂久（高10回）

この度、平成27年度定期総会におきまして再任され、会長職を2年間勤めさせていただくことになりました。昭和26年設立された在京会高同窓会、歴代会長が築かれました伝統と歴史を考えますとその責務の重さに身の引き締まる思いがいたします。浅学菲才な私ではございますが、母校と同窓会発展のため邁進する所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

当同窓会の目的は会員相互の親睦を密にすることと母校の隆盛を図ることとなっており、目的達成のために多面的に事業を展開しておりますが、会運営の基本理念として**「明るく　仲よく　喜んで」**を掲げて歩むつもりでございます。これは同窓会活動に限らず人生の多くの場面で求められ、充実人生の根源であり健康の基本でもあると考えています。

特に「明るく」は人間関係を好ましいものにするためにどうしても欠かせないものです。真面目でいつも正しいことを主張する人でよい人間関係を築けない人がいますが、責める心が強くなり「明るさ」が不足していることが多いようです。吉野　弘さんの「祝婚歌」のなかに『正しいことを云うときは少し控えめにする方がいい。正しいことを云う時は相手を傷つけやすいものだと気付いている方がいい』というくだりがあります。「正しさ」も大切ですが、同時に「明るく」が人間関係構築には必要でしょう。

また同窓会を「学びの場」としても活用していただきたく、昨年より世代交流会も立ち上げましたので老いも若きも積極的に参加されることを望んでいます。当会は頼りになる素晴らしい仲間が多く「我以外皆わが師」として謙虚な心で参加すれば、限りない学びが得られるものと確信いたします。同窓会会員が年代を超えて、愛校心という絆によって末永く結ばれて充実の人生に繋がることを祈念するものでございます。

同窓会グラフ

①　安らぎの碑の前で　平 26.9.7（日）

②

海から上がってもやっぱり一路平安を祈られるか。平山誠一先輩
（平 26. 9. 7）

③

疲れません、何度でも万歳します。
（平 26. 9. 7総会）

医療法人健心会
えんどうクリニック
院長　遠藤　剛
胃腸科　外科　肛門科
入院施設完備　人間ドック有
診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土
8:30～12:30 | ● | ● | ● | ● | ● | ●
2:00～6:00 | ● | ● | / | ● | ● | ● 5:00まで
健康相談・健康診断
インターネットで探す私の「かかりつけ医」!!
私のお医者さん
http://www.endo-go-cl.jp
健康に役立つ情報いっぱい!
会津若松市一箕町亀賀藤原417-3
（旧富士通バイパス、三井生命となり）
☎0242-33-0700

在京同窓会の活動状況

幹事長　**山寺清蔵（高17回）**

【総会】平成27年の在京同窓会は4月19日（日）上野精養軒に180余名が参加して開催。昨年度の事業・会計報告を承認、役員任期を3年から2年に変更を議決し、役員改選では石田会長と4人の副会長を再選、幹事長、会計、監査を新しく選出した後、本年度の事業計画を承認した。

恒例の会員スピーチは原子力規制委員長の田中俊一氏（高15回）が「混乱から混沌、そして創造へ、福島のこれから」と題して講演。県の立場の重要さなどについて語られた。

懇親会は、会津若松市副市長・田辺賢行氏（高20回）の祝辞に続き地元同窓会・新城猪之吉会長の発声で会津の酒で乾杯、宴もたけなわの折、母校の合唱部員として活躍したメンバーたちが昨年の全国学校音楽コンクール優勝の美しいハーモニーを会場一杯に響かせた。テーブルに用意された料理や飲み物も尽きかけた頃、学生会員がステージに集り、鈴木忠正氏（高15回）のリードのもと会場の全員で学而会歌を斉唱、さらに学生会員の小平達也君（高66回）の指揮で凱旋歌を声高らかに歌い、来年の再開を約して中締めとなった。

【各催し物】会津歴史探訪の旅、文化講演会、囲碁大会、世代交流会、川島杯ゴルフ大会、いも煮会、歩こう会、麻雀大会

【新役員・敬称略】

会　長　石田桂久（高10回）
副会長　加藤　仁（高7回）
同　佐々木　毅（高13回）
同　大越康弘（高13回）
同　新井田　博（高15回）
幹事長　山寺清蔵（高17回）
副幹事長　菅家敏之（高22回）
同　佐藤　学（高25回）
同　天野康弘（高29回）
事務局長　大越康弘（兼）
会　計　早坂嘉朗（高14回）
同　福田喜正（高21回）
同　丸山健治（高23回）
監　査　遠藤暢喜（高8回）
同　長沼種臣（高12回）

人・事。あらかると　①

ふるさと応援歌

河沼郡湯川村で、役場の新庁舎が落成して、表彰、その他の式典があった。『男はつらいよ』の映画撮影監督「高羽哲夫氏」（高51―5）の事を書いた絡みでお知らせを貰った。お祝いの中で「湯川村村民応援歌」の発表があった。あの映画出演の俳優倍賞千恵子さんが歌唱。その夫、古六禮次郎（ころくれいじろう）氏が作曲。その歌詞を、作詞家の、若松出身の石原信一（しんいち）氏（高19回）が作られた。言葉は口語体で、ごく卑近な語り口。平易で簡明でふるさと湯川村の現況を織り込む。曲調は、幼児でも口ずさめるように、平明で歌い易く、同時発表の村民歌よりも、心ゆく優しさにあふれ、酒席でも何となくみんなで斉唱できるような感じをもってきいた。その時の4人さんの写真。その右端が石原氏、その左が古六氏、その左隣が倍賞さん。最左端が衆議院議員菅家一郎氏（高27回）（平成27・7・4（土）湯川村体育館にて）

（佐藤　隆夫記）

「脱却すべき『レジウム』とは何か」

関西同窓会会長　管家　大幸（高14回）

今年（平成27年）の5月末に北海道を訪問した際、偶然に北海道同窓会総会に出席する機会を得た。そこでの講演は「余市町における会津藩士の足跡」と題するもので、講演者はご先祖が会津人という余市で果樹園を経営する吉田浩一氏であった。丁度、NHK朝ドラの「マッサン」で、話題になったこともあり、この機会に余市を訪ねてみようと思っていた矢先の出来事に、驚き且つ感謝した次第である。

◇「脱却」すべきは「戦後レジウム」か「明治維新レジウム」か

さて、今年は戦後70年。年初より安倍首相が如何なる「70年談話」を公表するのか関心を集めて来たところである（本誌が発行される頃には公表されているはず）。第一次政権で「戦後レジウムからの脱却」を標榜して登場した安倍首相であったが、何故か復活後の第二次政権ではこの言葉を封印しているようである。脱却すべき戦後レジウムとは一体如何なることを言うのか、必ずしも明確ではないが、最初にこの言葉を耳にした時に小生が思ったことは、今問うべきは「戦後レジウムからの脱却」ではなく、「明治維新レジウムからの脱却」ではないのかということであった。何故なら、今日まで続く近代国家・日本の出発点こそが明治維新であり、日本という国家システムに何らかの「脱却すべき」課題があるとするなら、それは戦後に始まった事ではなく、出発点である明治維新にまで遡及すべきものと考えるからである。

◇脱却すべき「明治維新レジウム」とは何か

では、小生の言う「脱却すべき明治維新レジウム」とは何か。詳細を論ずる余裕はないが二点を挙げたい。

第一に、**「過度の中央集権とそれを支える巨大な官僚システム」**である。小生は、近代国家を目指した当時（明治期）、この制度が果たした役割を過小評価するものではない。だが、今日においては活力を阻害する要因となっていることは多くの方が指摘するところである。目に余る東京一極集中や地方消滅と危倶される事態もこの制度と無関係ではない。梅棹忠夫が指摘するように、地方分権こそが我が国を豊かな国土に形成してきた基本であった。強力な中央集権制度は、近代国家建設の為の当時の国家が採るべき「手段」に過ぎない。今日ではその手段を維持するのが「目的」になってしまっている観がある。

第二は、**「精神文化」の問題**である。明治政府は近代国家建設を急ぐ余り、近代科学技術文明や諸制度の導入と共に、近代西欧思想と文化をも無批判に取り入れ、それまでの伝統文化の否定に走ったことである。廃仏毀釈などはその典型であろう。文化とは短期間で生み出せるものではない。科学技術や制度等はある程度完成品として導入することが可能でも、それを支える精神文化までも同じように入れ替えることには無理がある。結局、それは中途半端なものに終始し、その負の遺産は今日までも続いていると言わねばならない。

私は、時代を逆戻りせよと言っている訳ではない。原点に立ち戻って「何を目指したのか」を問い直し、伝統を生かしつつその目指した処に到達するには如何にすべきか、を再度考えてみる事も大事なことなのではないかとひたすら思う。科学技術や経済面での成功にも拘わらず、国民一人一人の個の確立や自立の面では未だに課題を残したままであるのは、明治の出発点におけるこの二つの問題が絡んでいるということを見落としてはならないと思うのである。余市町の会津藩士の足跡を辿りながらそんな思いに駆られた。

「山重水複　路無きかと疑うも　柳暗花明　又一村」（南宋・陸游）

困難な時があっても、必ず明るい未来は開けていくことを信じたいと思う。

高14回生
―遠来の客人を労う（ねぎら）―

平成26年度の総会を終えてから、地元勢一席を設けた。関西同窓会長・管家大幸氏。関西を代表して総会で声高らかに乾杯の音頭をとられた。（元）外航海運機関士の平山誠一氏は、総会記念の講演をなされた。

若松駅前の小じんまりした『やるき茶屋』での、うちとけた、やわらかで、心おきなく、盛り上がった数々の話題に、お互いに癒された雰囲気があった。次回に再び会えるよう無事を祈りつつ。

（さ）

管家大幸氏プロフィール
・富山大学経済学部卒（1966年3月）・住友金属工業㈱（現新日鉄住金㈱）入社（1966年4月）・㈱イトーヨーギョーへ移籍（2000年6月）・同社　退社（2008年6月）

関西同窓会の活動状況

幹事長　佐々木　繁（高20回）

（1）第22回総会

平成26年11月10日、「ホテル　プリムローズ　大阪」で開催。出席者は39名。内訳は来賓9名、会員23名、学生7名。

総会に先立ち、上野信様から「初めての海外／アラブ世界との出会い」の題で、イラクでの海外プロジェクトの体験談やアラブ世界の人々への思いについて「会員スピーチ」をしていただいた。

総会に移り、管家会長から、来賓の方々への感謝、菊池泰次先輩の執筆文の毎日新聞への掲載紹介等の挨拶があった。次に、会務報告、会計報告の後、平成26年度予算案を審議・承認した。

来賓の挨拶では、新城会長からは、〝八重の桜〟終了後の観光客の落ち込み、日本酒による乾杯条例の制定、等々故郷の様子の紹介があった。箱崎校長からは、進学状況、クラブ活動の報告を頂いた。最後に、中学校歌、高校校歌を合唱し総会を終了した。

懇親会は、同じホテルで開催。菊池先輩の音頭で、新城会長差し入れの会津の銘酒で乾杯。来賓のスピーチに移り、在京同窓会の石田桂久会長・中部地区同窓会の大内哲夫会長から各地区の活動内容等の紹介をして頂いた。次に、千葉宏先生からの提案で、女子と学生の皆さんから抱負をお聞きした。会女・葵高校同窓会関西支部の新田弘美支部長からは、お祝いの言葉を頂いた。

その後、余興に移り、遠藤相談役による「会津磐梯山」の披露があり、「白虎隊」を上野副会長が吟じ、宴たけなわを迎え、学而会歌と凱旋歌を合唱し一次会を終了した。二次会は、近くの居酒屋に場所を移し、会津の話題の続きに花を咲かせた。

（2）散策会

当同窓会の特色ある活動として年4回ほど関西の史跡を巡る散策会を実施している。

第1回「三十三間堂」第2回「石清水八幡宮と背割り堤」第3回「大阪中央公会堂・適塾」第4回「西本願寺」。毎回10名近くの会員が参加している。

（3）その他の活動

そのほか、「定例懇親会」を年5回実施。各地区同窓会総会への参画、伊那北高校同窓会との交流会を実施した。また、恒例の黒谷の剣舞奉納に参加し、剣舞会員の激励を行った。

人・事。あらかると　②

音楽を平面の紙上に表わせるか

ひびき美しい音楽を、平面上に表現することは、どうやっても不可能。いつの時代になるか、楽譜にスマホをあてると、たちどころにその楽譜を読み取って音楽が鮮やかに再現できる

―というようなことがあれば助かるのだが。

会津高校合唱団が35年ぶりに日本一の座についたことを会報紙面に表現するのには～とあれこれ苦慮。結局は新聞紙情報を生かそうと、報じてくれた記事を活用することに決めた。本号中央見開きがそれである。新聞社はクレジットに、その社名を記載することを条件に快諾してくれた。合唱団の二つの姿とともに、「第九」も紹介して現役生、ＯＢともに元気一杯であることをご承知頂いて、今後とも、陰に陽にご支援願いたい。（さ）

④

ゴルフのお知らせの袋詰めのあとで立ったままで会議（平27.3.1）

⑤

2015.8.8（土）第２回幹事会を和室で

『会津嶺の心で結ぶ中日本』
中部地区会高会女同窓会文集発行から10年

中部地区会津高校同窓会長　**大内　哲男**（高13回）

中部地区同窓会発足から20年目、平成18年頃、同窓会活動の活性化の方策を模索していて、一つは会高・会女同窓会合同で行事を行うなか、秋の芋煮会は、男女共同作業で大勢の家族参加もあって大成功でした。今も毎年大高緑地のデイキャンプ場屋根付きハウスで行います。

次に【総会に参加できなかったのですが、思いを伝えたい方は、俳句・短歌などで総会の壁に貼り出してはどうか】というアイデアが飛び出し、実施したところ、好評でした。【俳句・短歌にとどまらず『題』自由の作文を募集して、文集にしてみたら？】と言う提案が一番若い方からあり、最長老に近い方が『やってみるか』と言う事となり創刊一号が発刊される事となりました。『やってみるか』の長老は編集委員長大橋通雄氏（会高5回卒）提案者の若い方は鈴木幸喜氏（会高21回卒）。最初は会女の編集委員が決まらなかったのですが、第二号からは会女の編集委員、鈴木サヨ子さん（会女11回卒）も決まり、文集の題も決めようと言う事になり『会津嶺の心で結ぶ中日本』と決めました。毎年発行と最初は考えたのですが、初めは原稿募集してもなかなか集まらず、編集委員がヤキモキする場面もありました。隔年発行でちょうどよい間隔のようです。第一号は初めての事でもあり、会津と自分のことが中心でしたが第二号、第三号となると自分と現在にテーマが変わっていくようです。いつものメンバーと新しい投稿者が自由に書いて発表しているようです。第四号からはカラー写真も入ってきて、第五号では若い方の新感覚の投稿もありました。第六号に期待したいと思います。

ならぬことはならぬものです
日新館では観覧だけでなく、坐禅体験や弓道体験なども楽しめます。
その他、合宿や会社研修、大会、宿泊施設等にも提供しております。

白虎隊の学び舎
会津藩校 日新館
〒969-3441　福島県会津若松市河東町南高野字高塚山10
TEL 0242-75-2525 FAX 0242-75-3215
URL http://www.nisshinkan.jp/

すべてを地域のために
東邦銀行
取締役頭取　北　村　清　士（高18回）
〒960-8633
福島市大町3-25　TEL 024-523-3131

私たちは食文化の向上に貢献します!!
株式会社
二丸屋山口商店
代表取締役社長　山　口　豪　志（高11回卒）
■本　　社／会津若松市インター西50番地
☎0242-22-0148(代)
FAX.0242-25-0933
URL：http://www.208.co.jp
e-mail：yamaguchi-g@208.co.jp
■郡山営業所／郡山市亀田1丁目51番18号
☎024-934-3151
FAX.024-934-3152

酒造見学無料
末廣酒造「嘉永蔵」
・会津物産品売店
・売店・無料試飲コーナー

■営業時間　9:00～17:00　■見学無料■年中無休（12/31・1/1のみ休み）
併設
仕込み水で煎れた珈琲が自慢です。
蔵喫茶 杏 kyou
■営業時間　10:00～18:00
■水曜定休
世界の名機を展示
会津クラシックカメラ博物館
■営業時間　9:00～17:00
■年中無休
会津若松市日新町12-38　Tel.0242-27-0002
URL: http://www.sake-suehiro.jp/

平成27年度中部地区同窓会総会

幹事長　林　誠三郎（高19回）

平成27年度の中部地区同窓会総会は平成6年度から恒例となっておりますが、会津女子高校同窓会との合同総会として平成27年6月13日（土）16：30より開催されました。今回は、トーエネック㈱の城西荘で総勢23名が集いました。

司会進行役は会高鈴木幸喜氏（高21回）、と会女岩淵さち子さん（高18回）が務めました。さて総会に先立ち、恒例となった講演会を実施しました。今年は会女側が当番なので、鈴木サヨ子さん（高11回）による「介護現場での活動」について話して頂きました。講演後には闊達な質問などもあり皆さんにとって、非常に有意義な30分でした。総会は小林副会長（高15回）の開会宣言。大内会長（高13回）の挨拶。つぎに、佐藤信恭監査役（高7回）から監査報告が行われました。これらは、満場一致の拍手を持って承認され総会は滞りなく終了しました。さらに鈴木幸喜編集委員から、隔年発行の合同文集「会津嶺の心で結ぶ中日本」第5号の発行が紹介されました。ここで恒例になりました集合記念写真の撮影。

次に来賓として、管家大幸関西会高同窓会会長（高14回）から関西同窓会の近況さらに、北海道地区同窓会に参加されて、余市と会津藩士の遺跡を巡られた話に皆さん感動しました。今回の出席者最高齢の遠藤隆男氏（高2回）の乾杯の御発声で親睦会に移りました。酒は会津から取り寄せた地酒で一段と盛り上がり、そこかしこで話の輪が出来上がり、故郷会津を偲んで懐かしむことしきり。そして両校の校歌斉唱や会津を思い出しての「ふるさと」、小池元会長のハーモニカ、懇親会会場には、昨年秋に開催し恒例になった大高緑地公園での芋煮会のアルバムが回覧されて話題になりました。

中締めは、安西廣恭氏（高10回）の万歳三唱で無事に総会と親睦会を終えることができました。

中部支部役員（敬称略）

会　長　大　内　哲　男（高13回）
副会長　小　林　秀　明（高15回）
幹事長　林　　誠三郎（高19回）
幹　事　大　島　暁　爾（高18回）
監　事　星　　金　次（高19回）
幹　事　鈴　木　幸　喜（高21回）
監査役　大　束　祥　順（高5回）
監査役　佐　藤　信　恭（高7回）

（芋煮会で）↓

余市リンゴと会津藩士

會中・会高北海道同窓会会長　太田原　高昭（高10回）

テレビドラマの世界では、昨年の「八重の桜」に続いて、朝ドラの「マッサン」に会津の話が登場し、会津の人は大喜びである。「マッサン」に出てくる風間杜夫扮する森野熊虎は架空の人物だが、彼を通じて語られる会津藩士と北海道余市町とのかかわりはすべて真実である。

明治初年の余市は、松前藩のにしん場以来の漁村が開けていたが、内陸部に開拓のクワを入れたのは会津藩士が最初であった。会津藩士の開拓団が余市に落ち着くまでには様々ないきさつがあったが、ここでは一切省略する。ただこの余市開拓団が、札幌琴似の屯田兵村への会津藩士の入植に先立っただけでなく、北海道開拓の初期を彩る武士の集団入植の中でも、時期的に最も早いものであったことを、述べておきたい。

刀をクワに換えての開拓は、森熊氏が語る通り、大変な労苦であったが、それを救ったのが、開拓使から勧められたリンゴの栽培であった。開拓使の農場にはアメリカから導入されたリンゴの苗木があり、その試作地として余市が選ばれたのである。わが国へのリンゴの導入としては、他に千葉県に入ったフランス系のリンゴがあるが、これは気象条件に合わずに、消えてしまった。余市の会津藩士は見事にリンゴ栽培に成功して、日本農業史にその名を残している。今ではリンゴの本場は青森だが、そのルーツは余市にある。逆ではない。

マッサンは、ウイスキー醸造の適地として余市に目をつけるのだが、ウイスキーを仕込んでから商品になるまでの長い期間を、リンゴ果汁の販売でしのいだ。「日•果汁株式会社」が「ニッカ」ウイスキーとなるのである。こうした歴史を、私たち北海道同窓会は昨年の現地訪問、そして今年の吉田果樹園さんの講演を通じて勉強した。詳しくは幹事長の報告をお読みいただきたいが、私たちはこれからも会津と北海道の奇しき因縁を探求していきたい。

学而文庫にある校是

本間歯科医院

〒965-0035
福島県会津若松市馬場町 2-46
電話（0242）22-0922

あたたかい心とたしかな医療
新病院「総合医療センター」
現在、第Ⅲ期工事（外構工事）を行っております。
診療体制には変更がございません。

地域医療支援病院　地域がん診療連携拠点病院
一般財団法人 竹田健康財団 竹田綜合病院
会津若松市山鹿町3番27号 ☎(0242)27-5511(代) http://www.takeda.or.jp

この度、白虎隊記念館は、日本経済新聞社の
「何でもランキング・女性がすすめる歴史資料館」
で第５位にランクインしました。（平成21年7月4日付記事より）
県民の皆様に厚く御礼申し上げます。

❶江戸東京博物館（東京都）
❷姫路城兵庫県県立歴史博物館（兵庫県）
❸大阪城（大阪府）
❹徳川美術館（愛知県）
⑤白虎隊記念館
❻高知県立坂本龍馬記念館（高知県）
❼米沢市上杉博物館（山形県）

会津若松市飯盛山　創立昭和31年
白虎隊記念館

北海道同窓会の活動状況

幹事長　間部賢司（高13回）

第7回同窓会は5月30日（土）札幌第一ホテルにて総勢40名（会高ＯＢ27・会女ＯＢ13）が出席して開催されました。

総会は長嶺正紀副会長の開会宣言、太田原高昭会長の挨拶に続き、議事審議に入り、問題もなく承認されました。続いて役員改選にうつり、全員留任が可決されて審議は終了。同窓会から竹田政弘副会長、学校から毛利英雄教頭、千葉宏先生が来賓としてご出席くださいました。竹田副会長から同窓会や会津の近況報告があり、総会を終了しました。今回は（別項の）管家大幸関西同窓会長（高14回）のとび入り（余市町探訪の途次）の参加もあり、なお一層盛り上がりました。

講演会開会時から会女高同窓生も参席しました。講師には、昨年第1回『歴史探訪』（後述）で余市町を訪問した折にお世話戴いた吉田浩一氏を迎え、『余市町における、会津藩士の足跡』と題して、今回の為に自主制作された資料を基に多岐に亘る、内容の濃い講演をいただきました。書物では知りえないことを会津人として確かな知識に加えることができました。

合同写真撮影後、和知修二氏、高谷規子さんの司会で、谷川幸吉氏の懇親会開会宣言に続き、会女代表渡邉貞子さんの御礼とご挨拶が有り、毛利教頭からの母校の現状報告に続き、千葉先生の挨拶と高らかな乾杯発声で、宴会に入り、初参加の満田智氏（22回）、夏井清人氏（30回）会女では加勢さよ子さん（27回）、松本恵子さん（38回）が紹介された。自己紹介を兼ねてご挨拶を戴きました。各テーブルでは、いつものように楽しい会話が進む中、恒例となった後藤敏子さんのマジックショウが始まり、新しいネタが次々と登場し、楽しい一時に。宴会は更に盛り上がる中、伊藤忠孝氏、高谷さんの指揮で校歌、学而会歌、応援歌を全員で歌い上げ、桑原幸恵さんの閉会宣言で懇親会終了し、いつものように2次会、3次会と流れて行きました。今回は長嶺副会長が病から元気に復帰されましたが、皆勤賞の二瓶利雄氏、梅澤玲子さんが体調をくずされ欠席され残念でした。身体の管理はお互いにしっかりといたしましょう。

昨年9月6日に第1回『歴史探訪』を13名が参加して実施しました。弓田信氏が前述の講師吉田浩一氏と交渉し、事前準備をいたし、当日は吉田氏の案内で、吉田農園の『緋の衣』の原木をしっかりと見てきました。会津藩士の墓所・あゆ茶屋にて昼食の後、各地に残る記念樹を見て、会津人入植時の遺品が展示されている水産博物館を訪ね、館長から丁寧な説明を受け、遺品をまじかに見せて戴き、感動の連続でした。吉田氏は私たちを嶋保町長夫妻に引き合わせて下さいました。更なる驚きは9月4日に松平家第14代当主の松平保久氏が来訪されたことでした。今年は札幌琴似屯田村入植140周年記念で様々なイベントが組まれ、再びご当主が来札されるそうです。吉田浩一氏には本当にお世話になり、ありがとうございました。

なお、会員の遠藤連氏（高24回）は、本年4月12日の道議会議員選挙で5期目の当選を果たされ、次いで去る5月18日北海道議会第30代議長に就任されております。

余市町開村記念碑を背にして
（2014. 9. 6）

クラス会便り

會中五三会（會中52・53回卒）

【開催時期】
平成27年4月12日発会（毎月12日同窓会実施）
【会　場】
会津若松市栄町　万花楼
【出席人数】11名
【備　考】
平成27年會中五三会総会の記　於万花楼　四月十二日、会中五三会は十四人の構成十一人の出席で今年も無事発会に至った。
写真は上段左より、小林栄二郎・浦野一郎・飯田耕治・岩橋猛・柴田良雄・赤城良一、下段左より、大越健・遠藤孝・渡部欣一・桑間恒雄・穴沢卯一郎である。
よく「五三会の皆さんはお元気ですね」と言われる。が、それは単に同級会の結束の力ばかりではない。各自が趣味特技を生かし、世間との交わりから、何か世の役に立つことをしようという意欲の表れでもある。例えば、囲碁・麻雀をはじめ、菜園。書道・俳句・ピアノ・写経など。また新聞への投稿・ウォーキング・朗読ボランティア。変わったところでは小学生と一緒の算数塾通いがまた楽しいと言う。農業の現役もいる。
それぞれの成果を持ち寄り、月の十二日万花楼にて、母校の発展を祈りながら、甲論乙駁、世相を切り楽しい酒を飲んでいる。
（會中52回卒 浦野 一郎 記）

會中55回・会高2回卒

【開催時期】
平成27年4月19日（日）
【会　場】
ルネッサンス中の島
【出席人数】
20名（会員40名）
【備　考】
會中入学した昭和19年は甲申年であり、卒業後、甲申会と命名し、毎年4月に総会を開き、会員相互の親睦と扶助、健康を願い事業活動を展開してきた。しかし、会員の高齢化と減少により会を今年いっぱいで解消することになり、年会費を徴収せず、杯を傾け懇親会を盛り上げ、思い出を語り合う。
解散後は会長の小滝貴志が窓口となり継続する。
同窓会ゴルフ大会、囲碁大会に於いては団体優勝（またもやですぞ!!）の栄冠を勝ち取りました。
（佐藤　中一　記）

技術と信頼を提供する
株式会社 金堀重機
代表取締役　宮澤洋一
（高　26 回卒）
〒965-0052　福島県会津若松市町北町大字始字屋敷 31 - 1
Tel 0242-32-3111　Fax 0242-22-4474
田島営業所　福島県南会津郡南会津町田島字北下原 182-1
Tel 0241-62-5778　Fax 0241-62-5779
HP アドレス　www.kanehori.jp

あなたといっしょ、いい未来
会津信用金庫
理事長　星　幹夫
（本店）会津若松市馬場町2番16号
☎ 0242(22)7551
HomePage http://www.aizu-shinkin.jp/

高三会同期会

旧制會津中学校入学から七十年

会津高校 高三会同期会　　平成27年6月3日 於 御宿東鳳

私たち高校三回卒生は昭和二十年、太平洋戦争終戦の年に旧制會津中学校に入学しました。戦況も押し詰まった頃のこと。時間的制約のせいか、紙不足で問題用紙が間に合わなかったのか、定かではありませんが、ペーパーテストはなく、「特攻隊の精神は？」などの設問は勿論、算術の問題まで口頭試問でした。入学当時の、戦闘帽に巻脚絆（まきゃはん）姿の集合写真は残念ながら残っていない。授業中に空襲警報がでたり、グランドでは、応召された新兵が訓練していたり、慌ただしい毎日だった。やがて、終戦。高校編入となったが、戦後の混乱の中で修学旅行もなく、卒業アルバムもない。還暦を記念して、残っていた写真を編集し「永遠の想い」と題したアルバムが作製されて手許に残っているのが、唯一私たちの在校の証（あかし）です。

今年は戦後七十年。私たちが會津中学校に入学してから七十年の年月が流れたことになります。何十年と毎年続いてきたこの同期会ですが、それを記念に、今年は一度も参加したことがない人も含めて、全員ほぼ二百人に案内しました。亡くなられた人、体調不全の人も多く、結局参加者は二十六人。東京からの参加者が多かったのが嬉しい出来事でしたが、六月三日（水）に、東山温泉「御宿東鳳」で開催できました。

総会は石川哲郎君の名司会、木村貢君議長で淡々と進行。私たち学年の天才で、社会科学者、「ソビエットの崩壊」など沢山の著書で名高い故小室直樹君の評伝を書いてくださる方からの依頼で、「エピソード」の募集の話もありました。

懇親会は遠藤善一君の司会。当番幹事を代表して石原幸一君が挨拶。物故恩師・同級生への黙祷のあと、「駒のいななき」と「飯盛山の桜花」の二つの校歌を斉唱。中学時代・高校時代の思い出話で盛り上がり、会津の銘酒に酔いしれて、懐かしい友と語らって一夜が明け、来年の再会を約して別れを惜しみながら散会しました。

（小松　忠夫　記）

平成27年度

PTA役員

PTA三役

会長　林　健幸（継続）（高34回）
副会長　竹内　俊勝（3年）（高35回）
〃　山内　和也（2年）（高37回）
〃　佐藤　有史（1年）（高41回）
監事　毛利　英雄（学校）
〃　三橋　康雄（3年）（高32回）
〃　片桐　英昭（2年）（高33回）
〃　島影　久太郎（1年）（高32回）

各学年

3学年委員長　戸内　英景（高33回）
〃　副委員長　奥田　恵美
2学年委員長　大関　淳
〃　副委員長　嘉藤　朋子
1学年委員長　金子　保彦
〃　副委員長　寺木　栄美

委員会

総務　委員長　佐藤　文良
〃　副委員長　三次　徹（高40回）
〃　嘉代　美穂子
進路対策委員長　佐藤　幸成
〃　本間　奏恵（学校）
〃　若林　経一（高35回）
〃　細井　佳奈子
副委員長　佐竹　善隆
〃　鈴木　聡（高34回）
〃　風間　典子（学校）
生活指導委員長　真壁　伸介（高36回）
副委員長　湯田　暁子
〃　井上　吉朗（高29回）
〃　小林　陽一（学校）
生徒会活動委員長　武田　静子
副委員長　石井　淳子
〃　秋山　美詔（高30回）
〃　棚木　武彦（学校）

（会高6回）六甲会傘壽の集い

平成26年9月23日　於　御宿東鳳

会津高校第6回卒業六甲会傘寿の集い　平成26年9月23日　於　御宿東鳳

上段右から
芳賀　進
山室　重隆
五ノ井國男
薄　恒彦
佐久間良平
長澤　厚夫
岩上　亘雄
林　健一
野崎　邦俊

中段右から
石井　清嗣
星　洋一
倉戸　照夫
長谷川嘉男
高木　勝勇
滝沢　守一
本井　博
岸　喜志雄
阿達　公男

下段右から
東條　栄次
早川　広中
真部　健雄

大竹　隆輔
平田　和子
笠間　亮
大井　宗信
鈴木　浩一

昭和26年、会高に入学した4月に、GHQのマッカーサー元帥が解任されて帰国し、議会で演説のラジオの中継放送を聞かされた。まるっきり分からない英語を・・。授業中にお城の本丸にあった競輪場から最終コーナーなのか鐘の音がカンカンと風に乗って教室に飛びこんで来ることがあった。こんなどうでもいいことを思い出した。

われわれ第6回生は戦前・戦中の体験（B29の機影・爆音など）を多少なりとも記憶している最後に近い世代かも知れない。

昭和29年3月に卒業して60年、数え年八十才の節目の今年「六甲会・傘寿の集い」が、平成26年9月23日、東山温泉「御宿東鳳」に26名が参集し祝宴が開催された。

5時45分、予定より少し早く開宴の席についた。司会・進行役は阿部公男君と笠間亮君が担当した。笠間君が、この一年間の物故者名を告げ、亡き友をしのび全員で黙祷をしてから、今回の会の開催について説明し開会を告げた。真部健雄実行委員長が地元を代表して挨拶した。阿部公男君が、校歌斉唱は1番と3番と告げて「♪飯盛ヤマのォー・・」。伴奏は毎度お馴染みの岸喜志雄君でハーモニカで盛り上げた。この後も終宴まで何曲も吹きまくった。乾杯の音頭は大竹隆輔君がコップを上げ、歓談に入った。一分間スピーチが始まった。開始して7人目が終わったときに、なんと予告なしのコンパニオン3名が入場し、華やいだ雰囲気が漂った。3人が散らばり、スピーチが再開された。平田和子さんが『シャンソンのコンサートを11月30日に行いますので、聴きに来て下さい』とPRした。

全員が一分以上しゃべり50分ほどかかって終了した。近況報告が多かったが、人生経験が滲み出ている話も語られていた。

8時15分、芳賀進君が凱旋歌を指揮し、中締めをし、祝宴は終了した。

同期会などに出席できる人は幸せですよとよく言われます。今回も参加者は全員元気印で何よりでありました。

地元と在京が合同で主催する公式の会合は、今回をもって幕を閉じる事になりそうです。今まで会の運営に尽力された幹事の皆々様にお礼を申し上げます。どんな会でも幹事・世話役が優秀であれば継続するとの名言を思い浮かべました。

皆様、どうか健康第一に、お元気でお過ごし下さい。

（佐久間良平　記）

会高7回卒（七朋会）総会

【開催場所】
平成26年10月10日
【会　場】
会津若松ワシントンホテル
【出席人数】13名

平成26年度総会では、物故会員への黙祷、校歌斉唱の後、議事に入り、来年度は傘寿の祝いをぜひ開催して欲しい、という強い要望もあり役員会で検討した結果、平成27年10月10日総会に併せ実施することとなりました。会員への呼びかけは総会案内に傘寿の祝いの実施要項を付記し、希望者を募ることとした。

会高七朋会総会　平成 26 年 10 月 10 日於会津若松ワシントンホテル

前列左から　菅井　隆次　新国　　一　田村　昭夫　冠木　一彦　佐藤　孝雄
鈴木　健祐　小澤　徹二
後列左から　手代木和之　芳賀　恒郎　渡部　文夫　横山　秀夫　山崎　　守
長谷川慶一郎

会高9回卒総会

平成27年3月12日（木）巣鴨スポーツセンター（三菱）にて。
33名出席。その内会津より1名。新潟より1名。浜松より1名

（関　篤志　記）

会高10回卒総会

平成27年2月15日（日）東山温泉　元湯　有馬屋にて開催。出席17名。

例年どおり寿会新年会として開催したところ、東京、福島、郡山からも多くの参加者があった。酒宴が盛りになると、「学而紲（がくじせつ）」の話題になりその第3巻の発行を全員で進めることに決めた。

（有馬顕太郎　記）

会高11回卒総会

平成27年1月9日
田季野で。
15名参加。

（萬實清一郎　記）

⑥　〝ご満悦！〟のお手本
（27.5.5 ゴルフ等大会祝宴で）

趣のある部屋で（高 10 回）

⑦　マウンテンバイク獲得しちゃった！
（27.5.5 ゴルフ等大会祝宴で）

生徒作品が平成 29 年度インターハイの公式ポスターに採用された！
みなさん、覚えていて下さい！

「高13回三六会 年次例会開催される!!」

平成27年8月15日（土）、恒例の三六会年次例会が開催され、40名の参加のもと、昼はゴルフ大会、夜は萬花楼にて懇親会が盛大に開催された。ゴルフ大会はスコールに見舞われ、雨具取り出すひまもなく、全身ずぶ濡れのなか、39・37の自己ベストスコアでホールアウトした葛岡憲一君が優勝!!ベストスコアは、37・38の佐藤洋一君だった。三六会恐るべし!!。

P.M 6時より萬花楼にて年次例会の開催。学年連絡幹事の永田幸芳君の進行で進められた。6月15日忽然と逝ってしまった代表幹事の東條秀夫君をはじめ同期生321名中52名の逝去者に黙祷を捧げ、新しく代表幹事に選出された吉川直佑君の挨拶と、「生きていることの意味」についての講話を拝聴!。

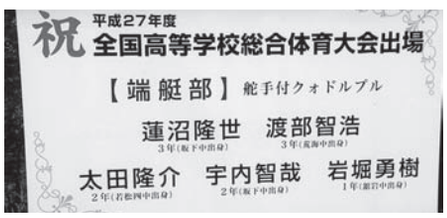
在京三六会を代表して佐々木毅君より近況報告。同窓会事業のゴルフ・囲碁大会の団体優勝。さらに協賛金の貢献度ナンバーワンの会務報告。更に9月23日、会津風雅堂において開催される、安部哲夫君も指揮する「ゆうやけの歌」フェスティバルにも協力することを決議し、いよいよ宴会へ。髙橋庄作君の提供のうまい地酒「会津娘純米酒」をなみなみと盃に注ぎ三六会発足以来初めて参加した横山淑雄君の音頭で乾杯!!大いに盛り上がり、話は尽きず、あっという間に閉会の刻を迎え、福田徹君の指揮のもと校歌斉唱!外庭で聞いていた野球部後援会の東條秀夫君の後任の田澤豊彦（高23回）会長をはじめとする諸兄達と一緒に、肩組みながら凱旋歌!永田幸芳君による、今や定番となった慶祝の拍手でようやく終了!!再会と健康を願いながら、夜の街を帰途についた。

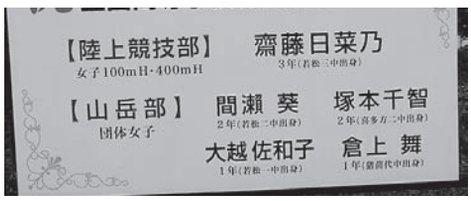
なお、同窓会ゴルフ大会、囲碁大会に於いては団体優勝（またもやですぞ!!）の栄冠を勝ち取りました。

（中村　洋一　記）

三六会　懇親会　　平成27年8月15日　於 萬花楼

インターハイ出場の諸君





会高一六会総会（会津高校16回卒同期会）

平成27年8月8日
於会津若松ワシントンホテル

参加者24名。例年になく猛暑の中、多忙中にもかかわらず出席を頂き、盛大な会となりました。

物故会員への黙祷に始まり、校歌斉唱（秋山節雄君指揮による）、代表幹事挨拶につづき事業・会計・監査報告があり、了承されました。

つづいて、渡邉泰夫君の講話（会津藩の殖産　酒・漆器・蝋燭・松茸等）の後懇親会に入り、皆さんの益々の活躍や元気な近況報告があり、二次会、三次会へ。・・・再会を約して散会しました。

（川﨑　浩通　記）

尚　ブログを公開しておりますので、ご覧下さい。
会高一六会ブログ
https://app.f.cocolog-nifty.com/t/app
アカウント　aiduhs 16kai
パスワード　196416
********* 会員以外の運用禁止　アカウントおよびパスワードの管理には注意 *************

（高42回）恩師を囲む会

～千葉先生、哲夫先生の会高ご退職のお祝い～

今回の企画は42回卒有志による、諸先生方の退職を記念に（退職を肴に？）、会津管内にいる同窓生に声をかけて、「大いに飲もう」という計画が検討されていました。しかしながら、代表世話人佐藤繁の多忙さ（職務怠慢？）ゆえ（毎度のことですが）、ぎりぎりの案内になりましたが、平成27年3月17日に「割烹水林」において挙行（強行？）しました。本来ならば、もっと盛大に会津ワシントンホテルを貸し切る勢い（!?）で企画運営すべきところですが、何分たえず時間不足の（自転車操業）であり、関係各位には大変ご迷惑おかけしました。

卒業から25年が経過し、我らが千葉宏先生が講師をご退職、佐藤哲夫先生が定年でご退職となりました。

学年の担任団の先生方にお声がけし、5名の恩師の参加と、遠く岩手から参加した同窓生もおり、大いに盛り上がった会となりました。

（恩師・右より）
栗原孝明先生（高19回）
佐藤哲夫先生（高25回）
千葉　宏先生（高8回）
秋山辰榮（たつしげ）先生（喜高8回）
星　雄一（ゆういち）先生（高24回）

（佐藤　繁　記）

支部便り

塩川支部総会

26年度の塩川支部総会は、11月1日喜多方市塩川町の「粋旬」を会場として行われました。

来賓として同窓会から竹田政弘副会長、学校から鷲山秀俊先生、隣接の湯川支部から髙橋新（たかはしあらた）・支部長をお迎えし、支部会員29名の出席のもとに開催されました。

物故会員への黙祷のあと、會津中学及び会津高校の校歌を斉唱し、須田敬（けい）支部長の挨拶、竹田副会長、鷲山先生及び髙橋新・湯川支部長の来賓祝辞が行われました。

議事においては、25年度事業報告及び決算報告、26年度の事業計画及び予算が原案通り承認、決定されました。

総会終了後、本年度に入学した新入生8名に対して、支部長から祝福と激励を兼ね記念品（図書券）の贈呈が行なわれ、新入生からは学校生活の状況や今後の抱負などについて発表していただきました。それぞれの目標に向かって、今後の活躍に大きな期待を寄せるところです。

続いて、参加者全員による記念撮影のあと懇親会が盛大に行われました。

一年に一回の交流の場ですが、先輩後輩の垣根を越えて、相互の親睦を深め合いながら、有意義なひと時を過ごしました。

年末までには新たな同窓会名簿が発刊されることになっており、若い同窓生の確保に努めながら、塩川支部の充実を図ってまいりたいと思っています。

（塩川支部幹事長　野口　富士夫）

南会津支部総会

平成27年度の南会津支部総会は七月三日、南会津町田島の丸山館で行われました。

同窓会本部からは、本部同窓会相談役の千葉宏先生（高8）をお迎えし、支部会員は三十二名の出席でした。

千葉先生のご挨拶の中では、「今年の大学受験で久しぶりに東大の現役合格が出たこと、しかも女子」とのことで、いくつもの感嘆の声が上がりました。その時は、誰も知りませんでしたが、実はその子の親は南会津町田島出身で、実家も残っているとのことで、今更ながらに話題になっています。

挨拶をする室井紘一支部長（高11）

なお、総会では提出された決算・予算・事業計画案など全議案異議なく承認されました。特に、新規事業として、支部長杯ゴルフ大会と麻雀大会が承認されました。

懇親会に移り、出席者の最長老であります渡部恒三大先輩（高3）の若き学生時代の愉快な思い出話などを披露されながらの乾杯の音頭により、笑いの絶えない楽しい宴の幕が開きました。

宴が進むにつれ、まずは校歌から始めようかとの空気を読み取って、渡部英明会員（高37）の号令指揮により、全員立ち上がり、年代を越えての高歌放吟は、母校への想いを甦らせて、全員がそれぞれの学生時代に戻っていました。

蔵元会員の差し入れの地酒の酔いも手伝って、時の立つのも忘れて談笑し、同窓生同士の繋がりの尊さに、大いに旧交を温めた一夜となりました。

【長沼芳樹（高24）記】

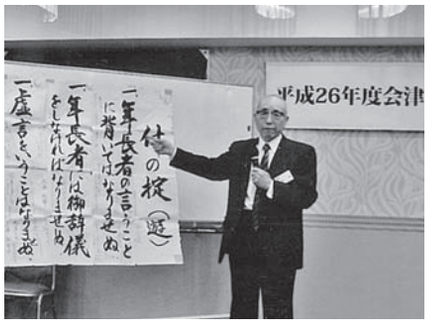
同窓会グラフ⑧
（ある日の監査会）

猪苗代支部総会

26年度の支部総会は長瀬地区当番でホテルリステルで、来賓として、東海林副会長、太田幹事長、学校より同窓会事務局の千葉先生、会津高校猪苗代町保護者会から喜多見哲氏をお迎えし11月23日に26名の出席で開かれた。

傘寿を迎えられた高5回卒の佐藤隆夫、薄健彦、小野一郎の3氏へ記念品が贈呈された。

今年度の講演は『なぜいま「ならぬことはならぬ」か。』―日新館教育に現代を学ぶ―と題して、会津藩校日新館長宗像精（ただし）先生のお話であった。



我が国の教育現場は戦後、不易の指針を失い、場当たり的な教育が続いてきたのではないか？かつて日本には儒教的モラルで、「五常」と言われた「仁」「義」「礼」「智」「信」があったが現代にあっては子供たちの心から消えかけている。特に他人を思いやる心である「仁」と人の道を意味する「義」の2つの精神が少年たちの心から消えようとしている。「仁」「義」の心を取り戻すこと、儒教教育の見直しが、混迷する社会から脱却する道ではないか。今「ならぬことはならぬ」の精神を大人の黄金律にしたいと、宗像先生はユーモアを交えて熱っぽく話された。

この猪苗代支部講演の次の日は、金沢市の市民大学講座があるという忙しい方であるのに私たちのために来て下さったことには大いに敬意を表します。

先生は猪苗代町（旧千里村）出身であられることで、猪苗代町の歴史や文化財にも関心を持っておられるので、心強い限りである。

講演会のあと記念撮影、会を誓いお開きとなった。懇親会と続き、来年度の再（高15回　長尾　景昱）

平成26年度　会津高校同窓会 猪苗代支部総会

平成26年11月23日 ホテル リステル猪苗代

会津武家屋敷年間パスポート

一年間何回でも入館できるお得なパスポート。一枚1,000円にて発売中。

会津武家屋敷菊まつり

家老屋敷を可憐な菊が彩ります。平成27年10月10日（土）～11月24日（火）

特別展『会津歴代藩主展～名君保科正之公に始まる二百年の歴史～』開催中

会津武家屋敷

〒965-0813 福島県会津若松市東山温泉入口
TEL 0242-28-2525（代）FAX 0242-28-2515
URL http://www.bukeyashiki.com

同窓会支部役員一覧

役職名	氏名	卒回
南会津支部長	室井紘一	（高11回）
同　幹事長	星恵助	（高22回）
同　幹事	長沼芳樹	（高24回）
下郷支部長	河合政弘	（高13回）
同　事務局長	湯田嘉朗	（高22回）
坂下支部長	増井邦良	（高14回）
会津高田支部長	小林立治	（高19回）
猪苗代支部長	長尾景昱	（高15回）
同　幹事長	佐賀幹雄	（高23回）
河東支部長	笠井武彦	（高17回）
同　副支部長	真船哲	（高19回）
塩川支部長	須田敬	（高12回）
同　幹事長	野口富士夫	（高22回）
湯川支部長	高橋新	（高15回）
同　幹事長	菅沼弘志	（高29回）
柳津支部事務局	金子佳弘	（高33回）

下郷支部総会

平成26年度下郷支部定期総会は、今までのように土・日曜日の開催を検討しましたが、町や各地域の行事が多く、日程がとれず、10月21日（火）の平日開催としました。

総会は、同窓会本部から林健幸副幹事長、学校から毛利英雄教頭先生をお迎えし、支部会員17名の出席のもと鈴木屋旅館で開催され、物故者への黙祷の後、河合政弘下郷支部長の挨拶林健幸副幹事長、毛利英雄教頭先生よりお祝いの言葉をいただきました。

議事では、提出された事業報告・決算報告・予算案・事業計画案・役員並びに事務局の一部改選等が原案通り承認。

事業報告では、「会長杯ゴルフ・囲碁・将棋大会」への参加状況や新入生歓迎会（26年度入学生2名）などの報告がありました。

続いて懇親会が行われ、在学当時の様子や恩師などの思い出話に楽しいひとときを過ごすことができました。最後に会津中学・会津高校の校歌を声高らかに斉唱し、次年度の参加者の拡大を願い、閉会しました。

なお、当支部会員の佐藤一美（かずよし）氏（昭38・通教10回卒）が、平成27年6月25日**北海道・東北町村議会議長会長**（任期2年）に就任されました。

（支部事務局長　湯田嘉朗　記）

会津坂下支部総会

去る7月17日（金）午後6時より仲町江戸鮨にて開催しました。

来賓として同窓会より竹田政弘副会長、学校から丹藤茂校長先生、若商より二瓶支部長、会工より五十嵐支部長を迎えて会員26名の出席のもと開催しました。

物故会員への黙祷、中学高校の校歌を斉唱し、永戸支部長より有意義な総会であるようにとの挨拶を受け議事に入りました。

26年度事業及び決算を報告し27年度計画と予算を原案通り、承認、決定。

引き続き、役員改選に入り、2期4年間支部長を務めた永戸支部長の退任に伴い、増井邦良（高14回卒）を新支部長に選任し新しい体制の下で27年度のスタートを決定しました。

総会終了後来賓よりご祝辞を頂きました。

最初に本部同窓会竹田副会長より会報45号の発行と会員名簿の作成、5月5日開催のゴルフ、囲碁、将棋大会等の活動状況についてご報告を頂き、9月6日本部総会に多数の出席の要請がありました。

続いて丹藤校長先生より「男女共学の10年の今」と題して、クラス編成の男女比率や、各種クラブ活動の状況など、女子の躍進が目ざましい現在の姿を伺いました。

又坂下地区の、若商同窓会、会工同窓会より出席の支部長より、それぞれの活動状況と坂下三校同窓会の更なる交流事業を推進したいと力強い挨拶を頂きました。

次に参加者全員による記念撮影を行い早速懇親会に入りました。今回は高29回卒の永山宏一君や高35回卒佐藤暢一郎君等の若い人の出席もあり、先輩、後輩の垣根を越えた楽しい有意義な親睦の総会でありました。

以上

《前支部長
永戸正昭
（昭36・通教8回卒）記》

湯川支部総会

H26年度総会は、平成26年11月15日喜多方市塩川町の「粋旬」を会場として行われました。

来賓として同窓会本部より竹田副会長、高校より毛利教頭先生、塩川支部より山田善一副支部長をお迎えして、支部会員18名の出席のもと開催されました。

恒例によって、物故会員への黙祷ののち、會津中学および会津高校の校歌の斉唱が厳かに行われました。

引き続いて高橋支部長あいさつ、竹田副会長、毛利教頭の来賓祝辞が行われ、議事の中では、H26年度事業報告及び決算報告、H27年度事業計画及び予算案が原案通り承認・決定されました。

中でも、塩川支部との交流事業を行おうという新たな試みが明記され、両支部の相互交流が期待されるところであります。

今回、H26年度入学生に対して、祝福と激励の意味を込めて記念品を贈呈する予定でしたが、出席者がいなかったことは残念でありました。が、後日、各人に届けました。

総会終了後は、恒例による懇親会でしたが、世代を超えた情報交換、村政も含めた意見交換など、まさに会津高卒ならではの格調高い議論が闘わされました。

最後の締めはいつもの『凱旋歌』。応援団幹部OB、合唱部OBが複数名いることも大いに盛り上がる要因となっており、会員相互の親睦を大いに深め合う有意義な一日であったことは言うまでもありません。

（幹事長　菅沼弘志（高29回）記）

河東支部総会

会津高等学校同窓会河東支部第33回総会　　平成27年7月22日

平成27年度の河東支部総会は、7月22日広田駅前「おおた」において、来賓として同窓会より太田伸幹事長、学校から丹藤茂校長をお迎えして、会員27名の出席のもと開催されました。

物故会員への黙祷のあと、會津中学校及び会津高等学校校歌を斉唱し、東海林支部長から「後進に後を託し、支部長を退任する」との挨拶がありました。つづいて太田幹事長、丹藤校長の祝辞を賜り、議事に入りました。26年度の事業報告及び決算報告、27年度の事業計画及び予算について審議され、いずれも原案の通り承認、決定されました。

次に役員改選が行われ、支部長に笠井武彦（高17回）、副支部長に真船哲（さとし）（高19回）（再）、吉田恵一（高20回）を選出しました。最後に、東海林信一郎氏（高12回）の当支部への顧問就任が承認されました。総会終了後、懇親会が行われ、会員相互の親睦を深めました。

河東支部は、昭和57年12月に設立され、今年で33年になりました。（30周年記念総会は24年7月に開催）事業内容は、財政的なこともあり新しい企画ができない状況ですが、内容をより良くし、多くの会員が参加できるように努めていきたいと思います。

また今後は、会員の増加をめざし鋭意努力していきたいと思います。

（副支部長　真船哲　記）

おくやみ

（平成27年8月25日現在）

恩師

〈氏名（教科）・物故年月日〉

十二村二郎　先生　社会　26・10・17

畠　忠夫　先生　校長　〔平成〕26・11・30

穴澤一枝　先生　実習助手　26・12・17

山内　恭　先生　数学　26・12・31

江川ハル子先生　事務　27・1・12

江川　哲　先生理科（生物）　27・6・13

小林　康雄　先生　事務長　27・6・16

渡辺　規雄　先生　社会　27・7・20

会員

〈卒業回次・氏名・物故年月日〉

中41　横山　武　27・2・13

中44　平山　忠　27・9・31

中45　岡部　信　26・11・13

中46　石原　清二　26・12・19

中46　小池謙次郎　27・5・17

中46　松下　興介　27・2・3

中47　大島　清輔　27・2・4

中49　酒井　利明　27・4・30

中50　佐治　靖雄　27・6・2

中50　二瓶　善喜　27・7・31

中50　宗形　功　27・7・11

中51⑤　佐々木清一　27・4・16

中51⑤　棚木　貢　27・7・1

中51④　大内　賢一　27・2・6

中51④　古川　善喜　27・8・26

中52④　佐藤　綱雄　27・3・13

中52④　大竹　喜之　27・1・29

中53　鈴木　喬　26・10・6

中53　長谷川　明　27・6・17

中53　三橋　孝雄　26・12・7

中53　湯田　敏夫　27・8・9

中54　五十嵐信雄　26・10・12

中54　五十嵐憼　26・8・26

中54　作永　不折　26・2・11

中54　馬場　粂夫　26・9・5

中54　鹿取　信？

中54　土田　政信　26・9・22

中55　江川　栄一　26・10・24

高1　磯部　一郎　26・12・1

高1　日野　甲一　27・4・9

高2　上野　登　26・12・19

高2　大竹　正容　27・3・24

高2　大竹　信　27・3・7

高2　小滝　貴司　27・8・22

高2　新城　健一　26・9・18

高3　赤城　平八　26・11・2

高3　浅野　俊彦　26・11・7

高3　江川　哲　27・6・13

高3　大竹　俊夫　27・1・23

高4　赤城　博睦？

高4　石井　久雄　26・12・31

高4　石井　守　27・7・12

高4　小林　康雄　27・6・16

高4　高橋　章　27・5・14

高4　高橋　良昌？

高4　武臣　匡延　27・7・24

高5　赤城　定男　26・11・21

高5　坂場　五郎　27・4・1

高6　石堂　昭一　26・8・9

高6　石橋賢一郎　27・2・16

高6　奥田　啓介　26・7・11

高6　佐藤　平　24・8・4

高6　菅井　忠雄　24・4・8

高6　福原　一男　24・8・1

高6　宮村　守明　26・1・12

高6　村山　仁美　27・1・19

高6　山内　弘稀　考眞　27・1・？

高7　秋月　27・7・3

高7　大石　徹　27・5・2

高7　大塚　一彦　27・1・21

高7　佐藤　修一　26・6・23

高7　千葉　一夫　27・5・21

高7　林　幸夫　27・4・25

高7　福西　宣夫　27・4・25

高8　渡部　悦夫　27・6・24

高9　上村　衛　25・4・14

高9　加藤　佐仲　25・1・？

高9　白岩　弘　26・

高9　寺川　俊浩　16・12・5

高9　長尾　睦夫　24・12・10

高9　渡部　卓　22・12・23

高10　梅津　勉良　26・9・6

高10　宮澤　幸紀　27・2・21

高11　大久保彰二　27・1・25

高11　丹藤　佳紀　27・7・15

高13　小野　清一　26・6・16

高13　東條　秀夫　27・6・15

高13　前場　貞男　26・12・26

高14　鈴木　市正　26・12・29

高14　角田　英　26・11・20

高14　星　正雄　25・11・27

高15　坂内　慶一　27・6・10

高17　石橋　保　27・5・3

高18　野村　一郎　27・7・26

高19　菅野　恒光　27・2・26

高19　古川　陽一　26・6・6

高20　佐藤　信　26・10・18

高21　酒井　良一　27・3・14

高23　薄　和宏　27・3・23

高26　高田喜志男　26・2・26

高30　渡部　英武　27・8・17

高32　佐々木幸弘　27・8・16

高36　千葉　和美　23・10・9

高37　板橋　智仁　27・8・25

高41　佐治　保　27・5・12

（既報分は省いてあります。過去号をご参照ください。ゴシックで示した方は、締切日現在で最新の訃報です。）

お祝い

叙勲

旭日双光章　平27・4・29

大久保恭一（高3回）

瑞宝双光章

中村　俊英（高10回）

瑞宝中綬章　平27・4・29

木根淵英雄（高7回）

瑞宝小綬章　平27・4・29

君島　整（旧職員）

褒章

黄綬褒章

久保田善九郎（高19回）

表彰

宗像　亮一（高4回）

平成26年度

福島県文化功労賞

遠藤　秀樹（高22回）

厚生労働大臣表彰

平26・10・20

国保関係功績者

小汲　三代太（高14回）

県知事表彰

保健衛生功労者

会津高校合唱部

県知事表彰

優良文化団体

前校長　箱崎　二三彦

県表彰　学校教育功労者

旧職員　小浜　宗一郎

県表彰　学校教育功労者

本田　樹（高25回）

県表彰　学校教育功労者

関本　良（高25回）

県表彰　学校教育功労者

川島　宏（高26回）

県表彰　学校教育功労者

佐藤　淳一（高26回）

県表彰　僻地教育功労者

以上平26・11・3

会津若松市文化芸術功労者

小堀　貞（高6回）

会津若松市文化芸術功労者

照井　邦彦（高18回）

会津若松市文化芸術功労者

にろく大学

以上平26・11・4

鳥取市文化賞（鳥取の漆芸と人材育成）

橋谷田　岩男（高26回）

平26・11・

就任

北海道議会第30代議長

遠藤　連（高24回）

平27・5・18

北海道・東北町村議
佐藤　一美（通教10回）
平27・6・25

福島県薬剤師会会長
町野　紳（高　回）
平26・4・

喜多方市議会議長
渡部　孝雄（高21回）
平27・5・14

県庁人事　平27・4・1

農林水産部次長農業支援担当
佐藤　清丸（高29回）

土木部次長（河川港湾担当）
大谷　誠二（高29回）

土木部技監
室井　良文（高29回）

南会津教育事務所次長
佐々木孝一（高27回）

農業総合センター企画経営部長
宗村　洋一（高27回）

農業総合センター会津地域研究所長
永山　宏一（高29回）

企画調整部参事
塩見　敏夫（高32回）

当選

喜多方市議会議員
平27・4・19

五十嵐吉也（高10回）
渡部　孝雄（高21回）
小島　雄一（高24回）
江花　圭司（高46回）

三島町長
平27・4・21
矢澤　源成（高22回）

桧枝岐村議会議員
平27・4・21
星　哲二（高20回）

会津若松市長
平27・7・19
室井　照平（高26回）

会津若松市議会議員
平27・7・26
戸川　稔朗（高19回）
阿部　光正（高21回）
土屋　隆（高25回）
長郷潤一郎（高25回）
鈴木　陽（高27回）
横山　敦（高28回）
佐藤　郁雄（高34回）
高梨　浩（高35回）
小倉孝太郎（高37回）
小倉　将人（高46回）
内藤　基（高50回）

受賞

（新・改組の）第一回**日展**の「書」部門で**神田青峰**（本名・**寛治**）氏（高14回）が王維の漢詩を書いて**初入選**。
（平26・12月）

話題の著作

○**横山　秀夫**（高7回）
「会津寺院散歩」

○**白岩　孝一**（高18回）
①「徳一を尋ねて」
②「徳一と法相唯識」

○**笠井　尚**（高23回）
「白虎隊探究・世紀を越える精神風土」

編集後記

㈠　同窓会報には先行例が乏しかった。そこで会報に形を与える必要を痛感した。その形の一つが『母校データ』である。掲載したからこそ、母校の概要を把握できている筈である。わが母校の来歴と『今』を自らの情報として外に向って語り合って頂きたい。

今号で、母校絡みの刊行物を挙げてみた。優に百年を越えるもの、60年を超えるもの、50号に垂んとするものなど。何れも形を成してそこにあれば、それを生み出してきた先人・先輩たちの精神の所産であり、即、利益につながる情報ではないにしても、人間の生きる過程の糧として汲み取ることも出来る源となろう。

㈡　新機軸として、①同窓会支部を纏めている人々を紹介した。敢えて広報する。相互に情報交換をして頂きたい。②また、ＰＴＡがあって、後援会も組織されている。そこで役員名を掲載した。母校ＯＢの皆さんが、紛れもなく、こういう形でも、母校の全体を支える一翼を担っている。

㈢　訃報を知ることは悲しい。いつも訃報の主について知り得ていることを回想するたびに、良き人生、満足すべき人生であったであろうことを考える。その訃報がこのところ次第に届きにくい状況にある。しかし、ＯＢ・ＯＧであった、と新聞情報電話番号簿や卒業生名簿等を検索してわかる。同期生たちへの関心が薄れてきていないか心配する。事柄の大小に拘らず、同期生、同窓生への関心を深めてもらいたい。

㈣　「工学的安全」と「環境安全」をどのように併立していくのか、人類の課題を大桃氏が示されている。山国会津出の男たちが日本の海運を支えてきたとの報告。更に久々に個人の「弁論」の二文字に挑んで。内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞を獲得した後輩。

明るい展望に繋がる事に、我々も日々努めようではないか。次号で再び元気に会えることを祈って擱筆する。

（委員長　佐藤隆夫）

【会報編集委員】

編集委員長　佐藤　隆夫（高5）
同副委員長　佐藤　紘一（高13）
総編集長　瓜生　浩（高28）
編集委員　須藤　毅（高31）
半野　裕務（高33）
金田　知（高34）
渋井　祥雄（高35）
松浦　芳明（高36）
棚木　武彦（高39）
佐藤　繁（高42）
大木　孝之（高43）